

西宮恵美寿RCの松本亘様、伊藤八重子様、竹政会員ゲストの夏川知輝様、ようこそいらっしゃいました。

3月に入り、プロ野球のオープン戦が始まりいよいよ野球のシーズンです。

春は選抜からといわれますが、今年は第90回記念大会です。

選抜大会創設には和歌山中が少し関わっており、1915年に始まった全国中等学校野球大会では、3連覇に挑んだ23年に準優勝しました。夏の大会を主催する朝日新聞社に対抗し、大阪毎日新聞社が春の大会を開く計画を練り、発案者は和歌山通信部の安井淳三郎氏です。

彼は和歌山中野球部OBと交流するうちに、全国から最強チームの招待と選考基準に品位を盛り込みました。

1924年は名古屋の山本球場で行い、それは中京圏の野球ファンの要望に応える目的と、夏の中等野球大会で関西の学校の優勝確率が高い(10回のうち6回が関西の学校が優勝)のは、関西の風土に関係あるのか、地元である鳴尾球場で開催されるため移動による負担が少ないことが影響しているのか否かを確認する意味合いがありました。

全国から8校が集い、第1回優勝は高松商業、関西勢は一勝にとどまっています。そして翌年の大会からは甲子園球場で開催されています。